

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日：令和 7年 2月 3日

公表：令和7年 3月 5日

事業所名 ジャングルキッズジム

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		訓練室は運動療育を行うためにかなり広いスペースを確保している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		常時5～6人で支援にあたっている。	
	3 指導訓練室は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		一日の流れや、プログラムの流れ等はホワイトボードにカードやイラストで示す等、視覚支援によってわかりやすいように工夫している。	
	4 指導訓練室は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		支援前は子どもの手洗いうがい、支援後は触ったモノの消毒を行っている。子どもがおもちゃで遊ぶ場所、体を動かして遊ぶ場所、おやつを食べる場所も分けている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎朝MTを行い、前日の振り返り、当日の業務確認と共有、経営側と現場側との意思疎通を行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からの意見を集約したものを職員全体に共有し、改善が必要な内容を検討し実践に繋げている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ上に公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		行っていない
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修計画を策定し、原則月に一度の全体研修と合わせ、日々の職員MTの中で子どもの特性や支援の仕方に関して研修している。	
適切	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		原則保護者様と直接の面談によりニーズや課題をヒアリングし支援計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		契約前に標準化されたアセスメントツールで子どもの状況を確認している。	
	12 児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達管理責任者を中心に、常勤職員で会議をし、作成されたものを代表が最終チェックを行うことで子どもの支援に必要な内容が設定されるようにしている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		5領域を入れた内容で作成している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎週週替わりで立案担当者が代わり、その案に対し常勤職員全員でブラッシュアップし活動プログラムを決定している。	

な 支 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎週交替わりで立案担当者が代わり、その案に対し常勤職員全員でブラッシュアップし活動プログラムを決定している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		全体の集団活動の前に、必要な子どもそれぞれの個別課題に対して支援に取り組む時間を設けている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝MTで、前日の振り返りと、その日の活動内容や個別で取り組む事案を含め全体共有と内容の確認を行っている。午後から出勤する非常勤職員にも業務に入る前にその日の内容を共有している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎朝MTで、前日の振り返りと、その日の活動内容や個別で取り組む事案を含め全体共有と内容の確認を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		児童ごとの個別ファイルにおいて特記事項や共有すべき内容を記録し日々の支援の検証や改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		長くとも半年に一度行っている。事例によってはもっと短い期間で行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		原則児童発達支援管理責任者と場合によっては次席も同行して参加するようにしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		相談支援事業所の担当相談員と連携を取れるようにしている。相談員から利用者を紹介頂く例も多い。	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			直接行う事例は少ないが、保護者を通じて情報共有を行っている事が多い。また、園への送迎がある際に必要な事柄があればお互いに情報共有を行っている。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			直接は行っていないが、保護者を通じて情報共有を行っている。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		相談支援事業所の担当相談員と連携を取れるようにしている。相談員から利用者を紹介頂く例も多い。	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			当事業所に通所している子ども達は日中保育所や幼稚園に通園している子ども達のため。
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		部会などのお知らせが届いた際には、可能な範囲で責任者が参加するようにしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々活動中の子どもの様子を動画で送りできるだけリアルな様子をお伝えできるようにしている。	ライン等をうまく活用し、必要な保護者にはもっと頻度高く情報共有を行っていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			今後実施していけるように職員のより一層の知識と技術の向上を図っていく。
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		行っている。	
	31	支援内容と、それに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		得ている。	

保護者への説明責任等	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		原則半年に一度の面談がメインだが、その都度受け付ける相談にはできる限り迅速に適切に応じる努力をしている。	ライン等をうまく活用し、必要な保護者にはもっと頻度高く情報共有を行っていききたい。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		年に2回イベントの一部として保護者交流会を行ったが、参加率は高くなく、どれだけの保護者が必要としているのか実態を探っていききたい。
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		原則半年に一度の面談がメインだが、その都度受け付ける相談にはできる限り迅速に適切に応じる努力をしている。	ライン等をうまく活用し、必要な保護者にはもっと頻度高く情報共有を行っていききたい。
	35	定期的におとより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行すると共に、インスタグラム等で情報発信をしている。	お便りも内容も定型化してしまわないように工夫していききたい。特に日々の療育の内容や意図を伝えて行きたいと思う。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		動画を撮影する際に他の子どもの顔が入らないようにしている。	
	37	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		意思疎通が難しい子どもにはカードを用いたり、保護者には支援の様子を動画撮影したモノを見てもらおうようにしている。	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		利用者の保護者にも様々な考え方がいるので、安易には行えないと考えている。
	非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		毎月最終週に訓練を行っている。
40		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月最終週に訓練を行っている。	
41		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約の際に必ずお聞きしている。必要であれば「与薬依頼書」を提出頂いている。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約の際に必ずお聞きしている。カルテへの記載や職員全体への共有も行い、アレルギーに関する研修も行っている。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎朝のMTにおいて前日の振り返りとしてヒヤリハットがなかったか全体で確認している。	
44		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修を行っている。	
45		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		職員間で身体拘束についての認識とその可能性のある子どもを共有し、必要であれば保護者への説明と支援計画へ記載をしている。必要であれば身体拘束を行う可能性のある利用者の保護者に「同意書」を提出して頂く。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。